

公益社団法人中部日本書道会 一宮支部報

公益社団法人
中部日本書道会
一宮支部発行
編集
支部編集部

支部長就任にあたって

支部長 村上史麗



去る一月二十九日に開催されました令和四年度一宮支部集会上におきまして、川浦支部長の後任として新支部長を拝命いたしました。何分にも書道においても人生経験においてもまだまだ未熟な私が、伝統と榮譽ある一宮支部長の重責を担うことが出来るのか不安で一杯でございます。

幸いにも連盟会長には期待のホープ高松秀翠先生にご就任いただきました。又、支部次長にご経験豊かな吉田桃花先生、村田光柊先生、牧仙岳先生、連盟副会長には小島瑞月先生、倉橋高堂先生、高山紅雪先生のご協力をお願いすることが出来ました。この執行部を中心として支部の要として活躍いただける各部長の先生方始め、全ての支部員の方々の御力をお借りして支部運営に邁進していく覚悟でございます。これまで、支部の脈々と続く歴史を作つて

こられた相談役の先生方の深い見識とご経験を頂戴しながら何とかお支えいたいただければ幸いと存じます。令和二年以降新型コロナウイルスが蔓延し、支部行事も中止や縮小に追い込まれました。漸く令和五年になりマスク着用や行動制限の緩和・撤廃もあり徐々に支部連盟の各行事も本来の形に復活していくことになると思っています。しかし、当分の間は感染状況や社会状況を踏まえての難しい舵とりになるかと思えます。それに加え書道界全体の低迷も続く中、会員の皆様方の力を結集し、一歩でも前進出来るよう試行錯誤を重ねながら全力で取り組むみたいと思えます。よろしくお願致します。

令和四年度支部集会

支部次長 吉田桃花

▼日時 令和五年一月二十九日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

令和四年度の支部集会は、本部より理事で企画委員長の池田青岑先生、理事で総務部長の天野白雲先生のご臨席を賜り開催されました。コロナウィルスの感染も低

染防止対策は万全を期して行われました。議長に武山翠屋先生を選任し、行事報告・会計報告・行事報告案は黙読、会計監査報告の後で質疑応答を行いました。議事は満場一致で承認

されました。本年度は役員改選の年であり、選考委員長の則武先生と選考委員四名の先生で別室にて慎重にご討議していただいた後、則武選考委員長より、「選考委員全員一致で、次期支部長を村上史麗先生にお願いすることに決まりました。」と発表がありました。会場は期待を込めた盛大な拍手で一杯になりました。来賓の大池青岑先生のご挨拶の中で、「コロナ禍でも新しい発見があること、

令和四年度 書道講習会

船橋物語

美濃路と各地の船橋の歴史

連盟福会長 小島瑞月

▼日時 令和五年一月二十九日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター
▼講師 神田年浩さん

コロナウィルスの影響により三年ぶりに開催された書道講演会が支部集会后、引き続き行われました。今回は現在一宮市博物館学芸員の嘱託として活躍されています神田年浩さんをお迎えして、「船橋物語〜美濃路と各地の船橋の歴史」と題して一時間半の講演をお願いしました。

船橋とは、川の兩岸の間に船を並べて綱や鎖で連結し、板を渡した橋であり、急流で架橋が難しい川に技術が未熟な時代に架けられました。ヨーロッパ・南米インカ等にもあります。船橋の歴史は古く「古事記」「日本書紀」等に出て来ます。常設と臨時とがあり、

朝鮮使節団が訪れた際には臨時架設されました。起川(木曾川)は、川幅が広く船が三百艘近く必要で、工事期間も半年以上かかる為、費用は数千金になり、人足は農民が徴用されて大変な負担となっていました。構造は地域により異なりますが、両側の船縁には、二条の鉄索で維持され、馬でも渡れるぐらい、堅牢に工夫されて造られていました。完成すれば壮観で見物客も多く、数日前から留まる人もいた程度です。



書道においてもSDGsは可能ではないか、等々のお話がありました。この時代だからこそ課題を指摘いただき、「だからこそその気付き」の大切さを再発見することができました。最後に新支部長の村上史麗先生より、メリハリのあのお声で、はっきりと決意の思いを述べられて閉会となりました。一宮支部初の女性支部長で益々期待も大きく、より一層斬新で活気ある支部に発展するよう全支部員で盛り上げていき



支部集会

令和5・6年度 公益社団法人 中部日本書道会一宮支部 部別編成・役割表 ※順不同(任期2年)

支部長 村上史麗	連盟会長 高松秀翠	監事 伊藤玄圃	常任顧問(相談役) 龜山雪峰	武山翠屋
支部次長 吉田桃花 (協会事務局長、集会担当)	連盟副会長 小島瑞月 (講演会担当)	鷲野紫	木戸竹葉	林岩田
支部次長 村田光柊 (支部展担当)	連盟副会長 倉橋高堂 (事業部長兼任)		則武穹	岩田澗
支部次長 牧仙岳 (学生展担当)	連盟副会長 高山紅雪 (選抜作品展担当)		川浦碧	
一宮書道教会常任理事長				
部別	部長	副部長	委員	分掌
事業部	倉橋高堂	可児長望 陣内華苑	井上紅鳳 上藤香蘭	支部展・集会・講習会・研修会・イベントの企画運営 部長会の資料の作成・議事進行、事業計画・事業報告書の作成 部長会・学生会・作品展等の会場手配(連盟は経理)
教育部	関戸海越	梶木光雪 川本青柊	浅野揺草 廣川岳	学生展(支部・七夕)の企画運営 備品の管理
庶務部	岩田展徳	長崎成秀	内藤春翠	文書の発送 その他、他部に属さない業務に関すること
経理部	横井静嘉 村井上桂	酒井淑純 溝口純華	鶴飼秀麗 森翠葉	予算・及び決算、収支に関すること 金銭を伴う受付業務、日常の金銭の管理
会員部	太田紫翠	大塚昌苑		会員の管理、会員名簿の作成 各種資料の管理
編集・広報部	田中石雲	山田紅照		支部(本部)報の編集、発行・各行事にかかわる広報に関すること 各種資料の作成・名札の管理・芸文協の編集会議と冊子の配布
記録部	藤木秀華	土屋葵芳		部長会の議事録の作成 各種事業の記録(出欠含む)、及び写真
厚生部	牧野瑞葉	中山芳泉 牧恵清	阿部舟花 大西影慕 山本瑠華	交流会の司会・進行等運営全般、会員の福利厚生に関すること 各種行事の飲食に関すること。弔事における弔電・供花の手配・本部への連絡

※ 各部に於いて業務執行上、必要において、他部に協力を求めることが出来る。又、協会員にも依頼することができる。(副部長、委員は五十音順)

船橋は西日本に少なく、利根川水系など関東に多く、神通川船橋(越中)は常設ですが名所として絵画にもなっています。明治時代になると木橋に変わり、次第と姿を消していききました。私達が現在利用している橋は先人達が一歩ずつ築き上げてくださったお蔭だと感謝します。聴講者 62名(内一般9名)

第七十七回 一宮市芸術祭参加

第67回 一宮支部展

支部次長 村田光柀

▼会期 令和四年十一月二十六日(土)〜二十七日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター



秋深まる頃、第67回支部展が開催されました。本年度は本部より賛助として、理事長の伊藤仙游先生、副理事長の岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生の御出品を賜り、支部の先生方からは、一六八名の御出品をいただきました。

フューチャーズ団体におきましては、弥天塾、有心会、麗筆会の三団体。個人出品では、川浦支部長、村上連盟会長の御社中から五名の御出品をいただきました。未だコロナ禍の社会情勢が継続中乍ら多数の御出品を賜り、又搬入搬出作業も昨年同様の縮小体制の中、各先生方には多大なる御尽力御協力を賜り無事に終了

させていただくことが出来ました。これも皆様方の御蔭と心より厚く御礼申し上げます。一旦、中断しておりましたギャラリートークも再開の運びとなり誠に嬉しい限りでございます。本年度は木戸竹葉先生が、快く担当して下さり、先生が書活動と共に長年御修養なされてこられた漢文の会得、漢詩の作成、古文書の読解等の勉強方法を御話して下さいました。先生が御持参下さった数多くの冊子には「東坡題跋」「竹葉詩集」と題され、正に漢文漢詩教本の集大成。その都度、手作りされた全

ての冊子は、先生御自身による毛筆にての手書きで、その素晴らしき美麗な細字に魅了された聴講の皆様は手に取られ、熱い眼差しで見入っていらつしやいました。書に通じる広い視野からの建設的な生涯学習の必要性を痛感させていただけたとても有意義で貴重な時間は、あつという間に過ぎてしまいました。相談役の先生方又来年度も御教示の程お願い申し上げます。そして一宮支部の益々の発展と共に、第68回展も多数の御出品並びに御尽力御協力賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人 中部日本書道会 一宮支部

第50回記念 学生書道展

支部次長 橋本成良

▼会期 令和四年十一月二十六日(土)〜二十七日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

第50回記念一宮支部学生書道展が十一月二十六・二十七日の二日間、一宮スポーツセンターで開催されました。

年好評だった「入賞者一覽」での上位入賞作品の写真掲載は大幅増を継続、一三九点の力作を紹介しました。第50回記念展の今回、出品者全員に記念品を進呈いたしました。最大の目玉は、川浦碧濤支部長発案による「作品刷り込み型賞状」の発行です。

七点を対象に授与しました。「二点物」のため、作品一枚一枚コピー取りや、塾ごとの仕分け作業は大変でしたが、自分の作品が大ききく印刷された賞状に子どもたちは大喜び。賞状と一緒に作品も残るのでうれしいと評判は上々でした。

来場者数も昨年の約二倍にあたる一六〇四名を記録。コロナ前の八五パーセントまで回復しました。少しずつではありますが、新しい展覧会の姿が見えてきたようないな気がします。本展覧会の開催に際し、ご協力いただきました多くの方々へ心より感謝申し上げます。

総出品点数は二九八九点。前回は比べ一九〇点の増加となりました。コロナ対策の関係上、今年も「カレンダー書き」のイベントや会場での賞状、賞品の引き換えは中止。昨

招待出品から奨励賞(一部の賞を除く)まで、八〇

コロナ禍によって、以前ほどのにぎやかさはなくなつた反面、広いスペースでゆつ

第80回 一宮市美術展

▼会期 令和四年十一月十七日(金)〜二十日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター



審査員 伊藤昌石 後藤汀鶯 武山翠屋 岩田潤流 富田栄樂 村田光柀 伊藤玄圃 鷺野紫篁 依頼出品 安藤蘇道 伊藤曉嶺 伊藤玄圃 岩田潤流 龜山雪峰 川浦碧濤 木戸竹葉 小島瑞月 近藤芳玉 武山翠屋 田代春苑

富田栄樂 美術展賞 則武穹 安藤静歩 林如華 伊神薪水 林大樹 伊藤翠晨 村上史麗 倉橋澄雨 村田光柀 里中紅華 森隆城 高桑愛降 山田杏華 高松彩月 吉田桃花 内藤春翠 鷺野紫篁 則竹松慶 出品点数 一六二点 花木寛城 林翠竹 平野桃瑤 松永翠峻 一宮支部 関係入賞者 大橋溪煙 安達寿扇 佐合華婉 安福展翠 林華静 伊藤彩秀 市長賞 後藤柳月 今井恭子 永田張羽 岩田玲雨 前野樹風 大迫寿星 教育委員会賞 飯田泰郷 梶木光雪 小川香風 北村虹景 西垣美茜 後藤沼香 特別賞 内出紅華 芝優杏 近藤由果 鈴木悠水 竹内深風



総出品点数 二、九八九点 招待 四点 無鑑査 二七点 個人賞(知事賞・菊花賞) 一、二四六点 記念賞 一、七二二点

おりもの感謝祭一宮七夕まつり 第49回学生書道展

一宮書道連盟会長 村上史麗

▼会期 令和四年七月九日(土)〜十日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

一宮七夕まつり第49回学生書道展が七月九日・十日の両日に一宮スポーツ文化センターにて開催されました。まだまだコロナ禍での展覧会ですので入場者の皆様の検温と手指消毒の感染対策は徹底させていただきました。

この展覧会は実に多くの先生方のご協力とご支援をいただきました。無事に開催出来ましたこと、盛会に終了出来ましたこと、心よりお礼申し上げます。

昨より出品点数が増加となり大変嬉しく思っています。また作品展示も招待出品から協賛会賞・奨励賞までの九四五点と多くの作品を見ていただきました。ご家族で来場され、作品の前で記念写真を撮るほほえま



総出品点数 三、一一三三点
特別出品 三〇〇点
知事賞・奨励賞 九一五点
七夕賞 三八九点
特選 一、二四〇一点
金賞 五三八点

◆一宮七夕まつり
学生書道展の本町通り展示
第49回おりもの感謝祭一宮七夕まつり学生書道展に展示した招待出品から支部賞・連盟賞までの五三二点と各塾で工夫を凝らして作成していたきました七夕作品二九点を、一宮七夕まつりを盛り上げる為一宮本

町通り商店街アーケード内に展示しました。昨年よりも華やかになったアーケード内の七夕かざりと調和して、多くの見物客の目を楽しませていました。



一宮書道連盟主催 第28回選抜作品展

▼会期 令和四年七月九日(土)〜十日(日)
▼会場 一宮スポーツ文化センター

おりもの感謝祭一宮七夕まつりに協賛し、第28回選抜作品展が開催されました。当連盟を代表する役員の方生及び、併催の「七夕学生書道展」にご出品の先生方を選抜させていただきました。楽しくユニークな小作品の展覧会でした。

(出品者)
亀山雪峰 武山翠屋
木戸竹葉 林大樹
則武 穹 岩田澗流
伊藤玄圃 鷺野紫篁

安藤蘇道 伊藤曉嶺
近藤芳玉 田代春苑
富田栄楽 中村曾南
森隆城 山田杏華
渡邊月潭 小原紫明
小島雪舟 川浦碧濤
村上史麗 牧仙岳
吉田桃花 村田光柊
橋本成良 小島瑞月
高山紅雪 高松秀翠
渡邊水香 山口如泉
村上桂峻 太田紫翠
加地孤握 藤木秀華
中山芳泉 市川嶺華
伊藤美泉 倉橋華仙

倉橋高堂 栗本珠路
関戸海越 田中石雲
戸松紅翠 中村華風
藤田寒樹 松田樹幹
溝口純華 美濃羽城開
浅野春陽 浅野揺草
岩崎翠風 岩田展穂
大塚菖苑 大西影慕
小川香風 尾中杉得
笥麗佳 春日井栄嘉
可児長望 川出暁香
河村抱山 川本青柊
國島英華 小出和香
後藤蘇月 酒井光華
酒井淑婉 桜井光雲
陣内華苑 竹内深風
内藤春翠 中村彩香
中村美舟 西垣美茜
西村松花 丹羽碧洋
野杵怜光 野田佳楊
橋本佳静 服部稲華

令和四年度 一宮支部研修会

―現地集合・解散での七宝焼体験―

事業部長 牧仙岳

▼日時 令和四年十月三十日(日)
▼場所 あまし七宝焼アートヴィレッジ

「七宝焼とは、金属とガラスの合体工芸の一種でその伝統工芸技法および作品のことを指す。」と文献には記載があります。その七宝焼の一端を垣間見ていただきたくブローチとかペンダントとかを作製する七宝焼体験教室への入講を企画いたしました。

参加者は二四名。さあ、この皆様方と体験スタート！開講に先立ち、川浦支部長の挨拶に始まり、アートヴィレッジスタッフの方の詳しい実習説明の後、実習へと進みました。まずは、絵付けの工程、予め決めておいた直径三から四センチメートル程の金属板にいろ

いろいろな色のガラス粉を水でのぼした釉薬をのせていき模様や図柄を描く工程で、これがなかなか繊細な作業。皆さん、かなり悪戦苦闘！なんとか描き終えた後は、焼きの工程、焼きはスタッフの方に任せをし、仕上げりを心配しながら、焼き上がりを楽しみに約一時間待ちました。

は、コロナ禍を考慮し、現地集合・解散で行い、参加者を人数制限しての会でした。何の制限もない会が行える日が早く来ることを祈るばかりです。



馬場清恵 原香風
藤野春竹 牧野瑞葉
見神恵峰 宮代翠霄
村瀬紫苑 森翠葉
森雪華 山田紅照
山本瑤華 横井静嘉
吉田美影 脇田遊汕
渡辺湖風 渡辺美翠

ご入選・ご入賞
おめでとうございます

改組新第九回 日展

入選 村田光柊
鷺野紫篁

第三十八回
読売書法展

秀逸 太田紫翠
近藤由果
牧野瑞葉

第71回 中日書道展

会場・会期

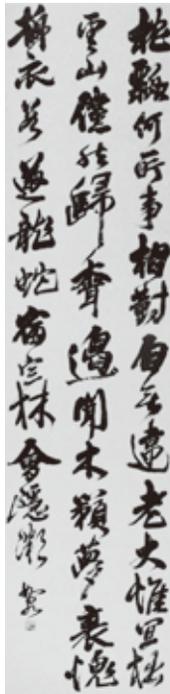
愛知県美術館ギャラリー1
名古屋市民ギャラリー1栄
名古屋市博物館

六月十五日(水)～十九日(日)
六月十四日(火)～十九日(日)
六月十六日(木)～十九日(日)「一科」
六月二十一日(火)～二十六日(日)「二科」

支部からは左記の方々が受賞されました。おめでとうございませう。益々のご活躍をお祈りいたします。

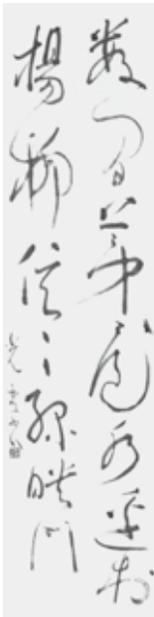
海部俊樹賞

山口如泉

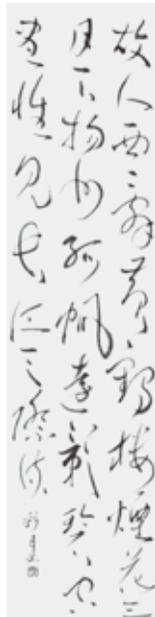


準大賞

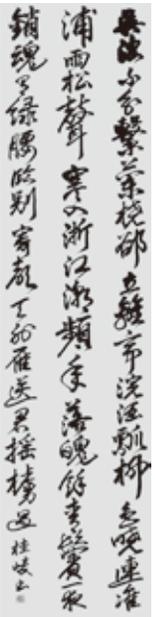
梶木光雪



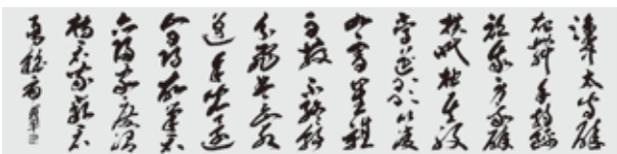
高松彩月



村上桂峻



森環翠



桜花賞

市川映舟	飯田華翠	安福陽翠	浅野映華	秀逸	古田翠楊	藤木秀華	廣川蒼岳	野田真梨華	丹羽碧洋	武田芳雨	柴田怜玉	佐藤玉瑠華	久住春乃	木全玲舟	鵜飼玲舟	伊藤翠晨	安達寿扇	準特選	水谷静香	井浪奈花	渡邊照苑	日置康秀	小嶋美雨	倉橋澄香	川出多恵子	箕川香風	小岩彩七	伊藤美水	伊藤薪美	特選	永井城圭	棚橋紅蘭	推薦	志隆道	小知隆	小林修堂	遠出和香	小笠原寧	大迫星	大川虹	馬場春蘭	阿部果祥
------	------	------	------	----	------	------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	----	------	------	----	-----	-----	------	------	------	-----	-----	------	------

大竹瑞光	佳作	佐々木映雪	小林秋月	小飼水影	稲葉碧陽	荒川白扇	二科賞	渡辺妃翠	渡辺静藍	脇田采華	山岡一沙	山岡華月	安江稲華	増田千咲	服部久敬	野々垣悠	中出紅和	富田朝煙	玉置奈緒子	田中昌瑩	瀧中光瑩	祖父江幽華	住田明花	鈴木優花	芝里紅華	佐藤紫榮	佐々木映花	佐久間汀翠	後藤翠萌	國島泛翠	櫛田惠翠	木村秀華	河合晃城	小笠原寧	大迫星	大川虹	馬場春蘭	阿部果祥
------	----	-------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	------	------	------	-----	-----	------	------

令和4年度 一宮支部収支決算報告

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

収入の部			決算額(円)	予算額(円)
款	項	目		
1	1	会費収入		
		1 理事・監事会費	10,000	5,000
		2 評議員会費	436,000	416,000
		3 正会員会費	776,000	880,000
		4 準会員会費	57,500	120,000
2	1	事業収入		
		1 支部展	672,000	800,000
		2 支部学生展	1,125,080	1,420,000
		3 支部選抜展	0	
		4 支部研修会	36,500	120,000
		5 支部講演会	0	
		6 支部祝賀会	0	1,020,000
3	1	雑収入		
		1 受取利息	0	95,000
		2 負担金	100,000	
		2 愛の募金寄託費 振替(本部・支部間)	100,000	
4	1	投資活動収入		
		1 特定資産取崩		
		1 支部積立金取崩	0	
		前年度より繰越	341,340	30,000
収入合計			3,654,420	4,906,000

支出の部			決算額(円)	予算額(円)
款	項	目		
1	1	管理費		
		1 支部事務所費	854,513	1,055,000
2	1	事業費		
		1 支部講演会費	25,420	132,000
		2 支部講習会費	0	
		3 支部研究会費	0	
		4 支部研修会費	65,540	60,000
		5 支部選抜展費	0	
		6 支部学生展費	1,794,829	1,833,000
		7 支部展費	264,076	330,000
		8 支部色紙贈呈費	0	
		9 支部書道振興事業費	382,000	350,000
		10 記念事業費	0	
		11 支部祝賀会費	0	1,050,000
		1 愛の募金寄託費	100,000	
3	1	投資活動支出		
		1 特定資産取得支出		
		1 支部記念事業積立金	70,000	70,000
		次年度へ繰越	98,042	26,000
支出合計			3,654,420	4,906,000

支部展・学生展の予告

第68回 支部展

一、展覧会 令和五年十一月二十五日(土)～二十六日(日)
一、会場 一宮スポーツ文化センター

第51回 支部学生書道展

一、展覧会 令和五年十一月二十五日(土)～二十六日(日)
一、会場 一宮スポーツ文化センター
一、出品資格 幼児、小学生、中学生、高校生
一、出品料 四〇〇円
一、出品締切 九月三十日(土)

主催 公益社団法人中部日本書道会 一宮支部
一宮市芸術文化協会

紹介 令和四年度新入会員

飯田華翠	岩田玲雨
大谷泉翠	小笠原温孝
小笠原寧秀	後藤翠萌
柴田智紅	住田明花里
瀧光瑩	武田芳雨
田中恵翠	田中昌子
棚橋紅蘭	玉置奈緒子
中出紅和	野田真莉華
野々垣悠	畑佐昂佳
廣川蒼岳	増田千咲
山田一華	稲葉碧陽
大竹瑞光	古池恵舟

訃報

本号発行までに左記の方が逝去されました。心から哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。(逝去順)

理事 西村松花 先生 御義父様
理事 鷲野紫篁 先生 御母堂様

編集後記

村上史麗先生を支部長にお迎えして、新しい一宮支部がスタートしました。支部長の斬新なリーダーシップの下、役員一同力を合わせて頑張っています。ご協力をお願いいたします。コロナ禍で行事が大幅に自粛されてきました。今こそ、不易か変化か。冷静な見極めが必要です。活力ある支部活動に向けて、微力ですが一翼を担えればと思います。

編集広報部長 田中石雲